

自由集会 6

貧困・低栄養と感染症：小児感染症重症化を予防するために

Poverty・malnutrition and infectious diseases

10月26日 17:00～19:00

国立国際医療センター 国際医療協力局4階 第7 会場

途上国で深刻となる感染症とくに急性細菌性下痢症は未だワクチンが存在しないものも多く、画期的予防法を見出せない現状である。コミュニティや地域保健センターレベルで可能なシンプルな感染症重症化予防法を求めてバングラデシュで日々戦う、国際下痢症研究センターの主任研究員(Dr.Tahmeed Ahmed, Dr.Sayera Banu, Dr. Kazi Jamil)を囲んでのディスカッションを予定しています。

17:00-17:05 Opening Remarks

●我妻 ゆき子 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)

17:05-17:25 Disease Surveillance and Health

●門司 和彦 (人間文化研究機構総合地球環境学研究所)

17:25-17:40 Pregnancy and malaria

●松本 芳嗣 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

17:40-17:55 Management of child malnutrition : experience from Bangladesh

●Dr. Tahmeed Ahmed (国際下痢症研究センター)

17:55-18:10 Tuberculosis in Bangladesh

●Dr. Sayera Banu (国際下痢症研究センター)

18:10-18:25 Neglected Diseases and Poverty : Leishmaniasis

●Dr. Kazi Jamil (国際下痢症研究センター)

18:25-18:50 Open Discussion and Comments

18:50-18:55 Closing Remarks

●我妻 ゆき子

企画 筑波大学大学院人間総合科学研究科
人間文化研究機構総合地球環境学研究所
バングラデシュ国際下痢症研究センター(ICDDR,B)
代表 門司 和彦 (総合地球環境学研究所)

